

赤井川村地域安全克雪方針策定連絡協議会 開催結果

会議名	赤井川村地域安全克雪方針策定連絡協議会 第1回
開催日時・場所	赤井川村健康支援センター 令和7年9月29日（月）13:30～14:45
出席者	出席委員：11名
議題	1. 開会 2. 協議会役員の互選 3. 協議・説明事項 (1) 克雪事業の概要 (2) 赤井川村地域安全克雪方針の策定に向けて ・ 克雪方針等に係る制度の説明 ・ 赤井川村における事業スキーム(案) ・ 今年度実施予定の事業内容 ・ 赤井川村地域安全克雪方針の方向性イメージ
会議資料	別紙のとおり

会議結果

(1) 協議会役員の互選

議会設置要綱の規定により、会長及び副会長を互選する。

(2) 克雪事業の概要について

協議会委員である国土交通省国土政策局地域振興課認定克雪体制づくり小西アドバイザーより、「豪雪地帯安全確保緊急対策交付金の活用事例と活用にあたっての考え方」と題して、全国各地の豪雪地域における交付金活用事例等について説明をいただく。

(3) 地域安全克雪方針の策定に向けて

方針案策定を受託した日本データーサービス（株）より、別紙資料に基づき、赤井川村における事業スキーム、地域概況やアンケート調査実施など令和7年度に実施する事業、方針策定の方向性のイメージを説明。

【各委員の意見】

雪による事故等について

- ・ 落雪等による怪我、事故の発生はなかったが、除排雪を毎日行うことにより、疲れがみられる高齢者が散見された。
- ・ 雪による事故、道路標識が曲がったなどの件数は相当数あった。
- ・ 毎年大きな事故にはつながっていないが、滑って転んだ等は日常的にある。（ゴミ出しに行く途中に転ぶという話を高齢者宅訪問から耳にする。）

高齢者冬期生活支援制度(除雪費用助成)について

- ・除雪を担う事業者として除排雪を請け負っていくのは年々厳しくなっている。
- ・除雪をお願いする側も除雪事業者が作業しやすい環境を整えることが必要。
- ・軒下除雪を行っている途中に花壇などを除雪機が巻き込み、機械の故障につながる事例も少なくない。
- ・雪かきの担い手対策を検討する際に、受援力として支援を受ける側の準備(除雪を受ける住宅周辺に物を放置しないなど)を呼びかけることも重要である。
- ・除雪受託事業者として花壇を傷めたことにより補償を求められたケースもある。

全体を通じて

- ・集合住宅(公営住宅)における除雪の互助ルールについて、克雪方針の中に定めていくことを検討してほしい。
- ・集合住宅(公営住宅)における除雪範囲を明確化したり、そもそも団地に入居する際の助成費用の負担等ルールを設定する必要があるのではないかな。
- ・アンケート調査票(被支援者用)において、建物の状況などを聞く設問を設けてはどうか。

【事務局】

- ・除排雪事業者の担い手対策は、村としても大きな課題として捉えている。
- ・公営住宅の除排雪は入居者間の互助活動であり行政としてルール化していくことは難しいが、克雪方針を策定する中で、若年世代や高齢者世代が混住している公営住宅の除排雪問題についても検討していきたい。
- ・高齢者の除排雪支援制度の周知にあたって、除雪支援を受ける側の準備についても広報していく。
- ・被支援者用アンケートにおいて、居住状況を把握する設問を検討する。
- ・各意見を参考に、本年度から3か年度で地域安全克雪方針を策定していきたい。

【事務局出席】

保健福祉課長、建設課長、保健婦福祉課保健福祉係